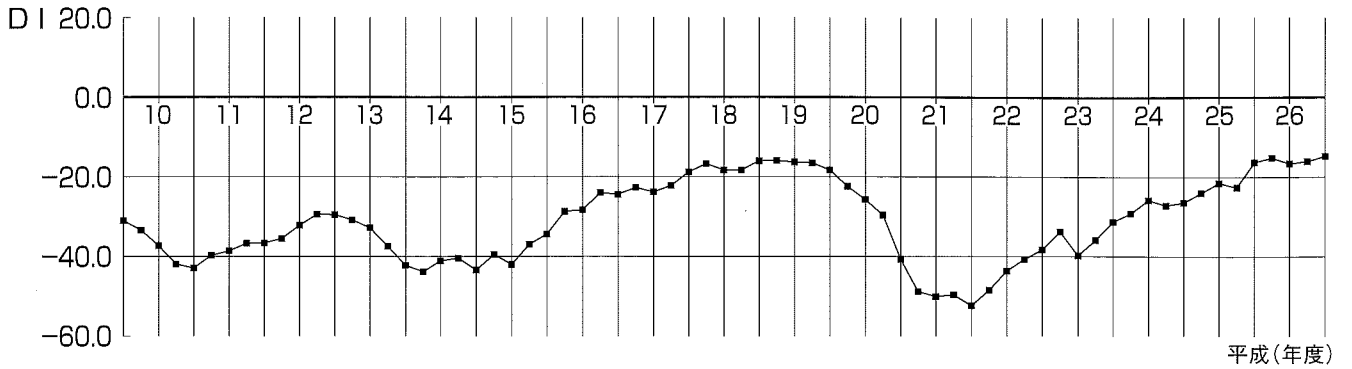


都内中小企業景況・6業種合計



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-14.8(前期は-16.1)と前期に比べ1.3ポイント改善した。業種別に見ると、製造業・卸売業で若干悪化幅が縮小した。

来期は卸売業、小売業、サービス業で厳しさが和らぎ、建設業で好調感が縮小し、不動産業で低調感が強まると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-15.8	-13.9	1.9	-12.5	1.4
卸売業	-16.2	-14.4	1.8	-12.3	2.1
小売業	-31.4	-30.4	1.0	-28.9	1.5
サービス業	-16.3	-16.2	0.1	-12.8	3.4
建設業	8.3	9.5	1.2	7.6	-1.9
不動産業	-4.2	-3.1	1.1	-5.3	-2.2
総合	-16.1	-14.8	1.3	-13.4	1.4

●製造業

業況は水面下ながらわずかに改善した。売上額・受注残・収益は前期同様の減少幅・減益幅で推移している。

価格面では、販売価格はほぼ横這いで推移し、原材料価格は上昇幅が大きく拡大した。

業種別に見ると、「化学工業」は非常に大きく好転し、「ゴム製品」は水面下ながらかなり悪化幅が縮小した。一方、「紙・紙加工品」は大きく業況感が落込み、「建設用金属」「食料品」は若干低調感を強めた。

来期の業況は、今期同様の厳しさが続くことと予想している。売上額・受注残・収益は今期同様の減少幅・減益幅で推移するものとみている。

●卸売業

業況は、水面下ながら若干上向いた。売上額・収益はともに前期同様の減少幅・減益幅で推移した。

価格面では、販売価格・仕入価格はともに大きく上昇幅が拡大した。

業種別では、「機械器具」がややプラスに転じ、「食料品・飲料品」は大幅に改善した。一方、「化学製品」「鉱物・金属材料」は幾分厳しさを増した。

来期の業況は、改善傾向が続くと予想している。売上額・収益はともに持ち直すものとみている。

●小売業

業況は、前期並の悪化幅で推移した。売上額・収益はともに前期並の減少が続いた。

価格面では、販売価格・仕入価格はともにやや上昇幅が拡大した。

業種別では、「ガソリンスタンド・燃料」「自転車・自動車」は大幅に持ち直し、「スポーツ用品・玩具」「飲食店」「家電・家庭用機械」「カメラ、時計・眼鏡」はわずかに悪化幅が縮小した。一方、「書籍・文房具」「家具・建具・じゅう器」はかなり深刻さを増した。

来期の業況は、今期同様の厳しさが続くものと予想している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するものとみている。

●サービス業

業況は前期同様の厳しさを推移した。売上額・収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、料金価格・材料価格ともにやや上昇幅が拡大した。

業種別に見ると、「自動車整備・駐車場」は大きく持ち直し、「情報サービス・調査・広告」はわずかに好調に転じた。一方、「洗濯・理容・美容」は前期同様の厳しさが続いた。

来期の業況は水面下ながら上向くと予想している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するとみている。

●建設業

業況はわずかに好感感が強まった。売上額は幾分増加傾向が一服し、受注残は若干増加幅が拡大した。施工高は前期同様の増加が続き、収益はやや好調さを強めた。

価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格はやや上昇傾向を強めた。

業種別に見ると、「設備工事」はかなり好調感が強まり、「職別工事」はやや強含み、「総合工事」は前期並の好感感が続いた。

来期の業況は今期を下回ると予想している。売上額・収益は今期同様の増加が続き、受注残・施工高は伸び悩むとみている。

●不動産業

業況は前期並の悪化幅で推移している。売上額・収益はともに前期同様の水準であった。

価格面では、販売価格はほぼ横這いで推移し、仕入価格はわずかに上昇幅が拡大した。

業種別に見ると、「建売・土地売買」は前期並の好感感が続き、「不動産代理・仲介」は前期同様の厳しさが続いている。

来期の業況は、低調感を強めるものとみている。売上額は持ち直し、収益は今期同様の減少幅で推移すると予想している。